

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	21—デ研—3
-----------------	---------

## 平成 21 年度配分 研究成果の概要

研究名	デザイン研究科建築専門領域新設カリキュラム研究			
配分を受けた特別研究費	デザイン研究科長	特別研究費	2,300	千円
研究者氏名 (代表者)	学部・学科名	職	氏名	共同研究の場合の分担
	デザイン研究科	教授	寒竹 伸一	建築意匠・環境設計・工事監理
共同研究者	デザイン学部空間造形学科	准教授	海野 敏夫	建築構造設計・工事監理
	デザイン研究科	教授	川口 宗敏	都市・ランドスケープ設計・監理
発表の方法 (予定で可)	1 紀要		号数	第 号 ( 年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名:		発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: 大学院教授会 空間造形学科会議		発表日 (発表 予定日)	平成 22 年 3 月

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

国土交通省による建築基準法の改正にともない、大学院における建築士資格基準が大幅に変更され、デザイン研究科建築専門領域は早急な対応をせまられている。静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科の具体的な新設カリキュラムと教育運営方法の確立が研究の目的である。

(研究の実施方法等)

1. 平成20年12月25日に財団法人建築技術教育普及センターによって確認通知を得た、建築士試験の大学院における実務経験の確認申請書内容の整理。
2. 大学院における実務経験取得院生養成新設カリキュラムの具体的内容と教育運営方法の研究と原案の作成。
  - ・ 建築意匠設計、工事監理担当 : 寒竹伸一
  - ・ 建築構造設計、工事監理担当 : 海野敏夫
  - ・ 都市・ランドスケープ設計 : 川口宗敏

研究対象科目

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 1. インターンシップ I～IV | 5. 都市デザイン特論 I、II |
| 2. 建築設計実務 I、II   | 6. 都市デザイン演習 I、II |
| 3. 建築デザイン特論 I、II | 7. ランドスケープデザイン特論 |
| 4. 建築デザイン演習 I、II | 8. ランドスケープデザイン演習 |
3. 九州地域の大学院建築専門領域担当教員へのヒアリングと、研究室の空間、設備の調査。
  4. 3. における調査結果により、2. の研究内容をブラッシュアップし、我大学院建築専門領域独自の魅力あるカリキュラムの新設と、活力ある教育運営方法の確立。

(得られた成果等)

静岡文化芸術大学大学院デザイン研究科建築専門領域における、他の大学院を越える独自の新しいカリキュラムと教育運営手法の確立。

建築専門領域の独自カリキュラムにより大学院生にとっても、魅力的なデザイン教育の実践。